

平成28年度岡山市保健所運営委員会概要

日時：平成28年8月25日（木）14:00～16:00

場所：岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 会長・副会長の選任
- 4 会長あいさつ
- 5 議事

保健所運営の実績及び方針について〔諮問〕

(1) 保健衛生年報及び運営委員会資料を中心として保健所事業全般に関する質疑応答

【事務局説明】

《付帯意見》

- 多様な手段でがん検診の重要性を知らせ、受診勧奨をしていくことが重要ではないか。
- 発災時に受援体制をどのように調整していくか危機管理部門と準備しておくことが大切である。
- 子どもの健診時さらに寄り添って声をかけてもらえたら、ちょっとした不安なども相談しやすい。

(2) 岡山市の感染症対策事業の動向と中期的方向性について

【事務局説明】

予防接種

- ・A類予防接種の接種率は概ね良好。
- ・未接種が一部の児に集積しており、不適切な養育とも関連している可能性がある。
- ・乳児期早期の接種状況から、その後の未接種の危険を予測できる可能性があり、未接種ハイリスク児への特異的な働きかけを検討したい。

感染症法に定めのある感染症の対策

- ・発生動向調査事業で全数把握および定点把握している。今後ホームページでの発信に留まらない、情報発信体制の強化が必要である。

結核

- ・罹患率は年々の変動はありつつも、低下してきている。

結核以外の感染症

- ・水痘が予防接種の開始により減少したのに対して、伝染性紅斑や流行性耳下腺炎などの疾患は、何年かの非流行期の期間があると感受性者が増え、その後に流行が起こる。
- ・インフルエンザや感染性胃腸炎は例年流行が起こる。この流行はインフルエンザについては学齢期、感染性胃腸炎については乳児期の集団感染が地域内流行をもたらす。特に、昨シーズンのインフルエンザのように学齢期で著しい集団感染が起こると、地域内への波及が大きい。従来、こうした流行性疾患対策を主に高齢者施設等を実施してきた。今後は、学齢期および乳幼児期での急激な感染拡大の阻止が対策の目標となろう。

議長とりまとめ〔答申〕

議長：保健所運営の実績及び方針についての原案を承認する。

- 6 副会長あいさつ
- 7 閉会